

令和4年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株)札幌リゾート開発公社	所管課	経)観光・MICE推進課
基本財産	1,020,000千円	記入者	担当 星野 電話 011-211-2376
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	本市出資額	200,000千円(出資割合 19.6%)
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
沿革		昭和48年	設立
		昭和51年	豊平峡電気自動車開業
		昭和53年	札幌国際スキー場開業
		昭和57年	ていねプール開業(札幌市受託業務)
		昭和60年	定山溪温泉スポーツ公園開業
		平成13年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務)
		令和2年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)
代表者	代表取締役社長(常勤) 浅野 正信(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本トラスティ・サービス信託銀行 (5.8%) ⑤ ⑥		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先		電話 011-598-4511

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営(6ページ)	② 札幌国際スキー場事業(7ページ)
ていねプール(手稲稲積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車・レストハウス事業(8ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(9ページ)
豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理者となり同施設の管理運営を行う。
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	93.4% (主要事業支出合計 933,122千円 ÷ 総支出 999,438千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数がR2年度以降大幅に減少したものの、地元客の誘客に向けて積極的に取り組むなど、定山溪地区の振興といった設立目的に寄与し、一定の効果が出ているところであるが、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	地元客誘客に向けた取組により、札幌国際スキー場の来場者は改善傾向にあり、出資・設立目的を達成するために必要な事業が実施されている。今後も、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。

3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					15	10歳代	0	40歳代	14	取締役	2年
常勤取締役	1	0	1	1		20歳代	1	50歳代	13	監査役	4年
常勤監査役	0	0	0	1		30歳代	8	60歳代	6	代表権のある役員 の 就任年月	
非常勤取締役			9			平均年齢		49.4 歳		取締役	R3.8
非常勤監査役			2							監査役	R2.8
職員					122					職員総数の推移(人)	
常勤管理職	0	0	8	0						R02.4.1時点	108
常勤一般職	0	0	34	0						R03.4.1時点	116
非常勤職員			80								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分		R2年度決算	R3年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,008,063	1,002,836 (100.0%) (▲ 5,227)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	977,623	973,951 (▲ 3,672)
			営業費用 (b)	1,080,740	999,438 (▲ 81,302)
			うち販売費・一般管理費 (c)	1,076,411	996,813 (99.4%) (▲ 79,598)
			うち人件費 (d)	389,073	408,390 (40.7%) (+19,317)
			営業利益 (e)	▲ 103,117	▲ 25,487 (+77,630)
	営業外	営業外収益 (f)	30,440	28,885 (▲ 1,555)	
		当期純利益 (g)	▲ 81,326	▲ 18,832 (+62,494)	
	貸借対照表	資産 (h)	資産 (h)	2,446,497	2,359,656 (▲ 86,841)
			流動資産 (i)	656,694	724,216 (+67,522)
		固定資産 (j)	1,789,803	1,635,440 (▲ 154,363)	
		負債 (k)	負債 (k)	781,982	713,972 (▲ 68,010)
			流動負債 (l)	192,819	206,580 (+13,761)
固定負債 (m)		589,163	507,392 (▲ 81,771)		
純資産 (n)		純資産 (n)	1,664,515	1,645,682 (▲ 18,833)	
資本金 (o)		資本金 (o)	1,020,000	1,020,000 (0)	
借入金残高 (p)	借入金残高 (p)	524,900	446,300 (▲ 78,600)		

R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a, f	ていねプール事業は前年同様新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、札幌市から施設を閉鎖する指示があり営業中止となった。また藤野事業のサマーシーズンについては、新規事業として計画していたキャンプ事業をコロナウイルスの影響により次年度へ見送ったこと等の要因により入込は減少し、ウィンターシーズンについても入込数は前年を下回ったものの売上高は通年で増収となった。また豊平峡事業は道外、海外からの団体客の動きが殆どなかったことから入込数、売上高ともに前年を下回る結果となった。札幌国際スキー場は前年皆無だった道外からの修学旅行の来場やスキー学習の受入れ増に伴い、入込数、売上高ともに前年を上回る結果となり、全体では経常収入は1,002,836千円（対前年比5,227千円減）となった。
e, g	営業損益は△25,487千円と前年比で77,630千円改善し、雑収入として札幌市より、ていねプールの損失対応分として13,682千円の経費の追加もあり、当期純損益は△18,832千円（対前年比62,494千円増）となった。
k, p, h	資産（h）については、有形固定資産の減価償却が進行したこと等により減少し、負債（k、p）は借入金返済を滞りなく行った結果減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	154,533	154,813	(+280)
市業務委託料	11,884	11,903	(+19)
うち随意契約	2,248	2,289	(+41)
市指定管理費	142,649	142,910	(+261)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	644,515	625,682	(▲18,833)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	68.0%	69.7%	(+1.7%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	340.6%	350.6%	(+10.0%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	107.5%	99.4%	(▲8.1%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	21.5%	18.9%	(▲2.5%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	9,334千円	8,645千円	(▲689千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	39.8%	41.9%	(+2.1%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	9,967千円	8,593千円	(▲1,374千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	110.1%	102.3%	(▲7.8%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.2%	0.2%	(+0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	15.3%	15.4%	(+0.1%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	健全性については、剰余金が前年度より減少しているものの、令和3年度評価時と比較して減少幅は改善している。また、自己資本比率や流動比率、固定比率など健全性を示す指標が概ね安定していることから、経営状態は概ね健全であると判断される。 生産性については、人件費率は前年度より増加しているが、新型コロナウイルスの影響により売上が減少したことによる一過性のものであると判断される。 自立性については、市依存度が前年度と概ね同水準となっており、自立性の高い状態が保たれていると判断される。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値(R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○出資団体としての在り方の検討						
①	市出資金	目標		200,000千円	200,000千円	200,000千円
		実績	200,000千円	200,000千円		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(2)人的関与

○取組目標		現状値(R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○最低限の人的関与の継続						
①	市派遣職員数	目標		0	0	0
		実績	0	0		
		評価		達成		
②	役員の就任数(取締役)	目標		1	1	1
		実績	1	1		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場の利用者増						
①	札幌国際スキー場の来場者数 (人)	目標		206,511	269,000	269,000
		実績	198,171	206,626		
		評価		達成		
②	子どもを対象としたイベントの参加者数 (親子DAY) (人)	目標		2,000	2,000	2,000
		実績	2,092	1,697		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
②R4年2月の大雪による5日間の営業中止となったことにもなうイベントの中止等の理由により目標未達成となった。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興						
①	豊平峡ダム来場者数	目標		52,190	80,000	80,000
		実績	47,959	41,995		
		評価		未達成		
②	定山溪温泉街との連携事業 (日帰り入浴パック) の利用者数	目標		2,300	3,100	3,200
		実績	1,923	2,268		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
①まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が繰り返されるほか、10月の見頃を迎えた中旬以降悪天候、低温の影響を受け目標未達成となった。 ②入込減に伴い実績も未達となった。今後の対応策として、定山溪温泉街との更なる連携の強化を図る。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場における収益基盤の強化						
①	国際スキー場パック券販売数	目標		24,000枚	24,000枚	24,000枚
		実績	29,542枚	34,285枚		
		評価		達成		
②	消費単価の対前年比	目標		99%	102%	102%
		実績	94%	113%		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○社員の資質向上						
①	研修等の延べ受講人数	目標		100人	100人	100人
		実績	68人	103人		
		評価		達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標		2件	2件	2件
		実績	1件	1件		
		評価		未達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
障害者就労支援施設からの物品調達は単価が高く、現在のコロナ禍における当社の財政状況を鑑みた結果、障害者就労支援施設よりも単価の低い業者へ注文せざるを得なかったため1件にとどまった。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○雇用安定化への取組						
①	非正規職員から正規職員への登用人数	目標		2人	2人	2人
		実績	2人	5人		
		評価		達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	http://www.srkk.co.jp/			
Eメールアドレス				
【経営状況等】				
<input type="checkbox"/> 定款	<input type="checkbox"/> 役員名簿	<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（	）			
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	パンフレット、テレビCM、ラジオCM、新聞広告、雑誌広告、会報誌広告、路線バス社内ポスター、道路看板、イベント出展 等			

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和4年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： 建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当： 三國	電話： 011-211-2536
(1)事業内容	手稲稲積公園、維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務）		市指定管理費(公募) 10,408
(2)事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3)事業開始	昭和57年（1982年）7月		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		22,485 (2.2 %)	24,645 (2.5 %)	(+2,160)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	10,408	10,408	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	0	0	(0)	
	その他収入	12,077	14,237	(+2,160)	
	費用（支出）	11,986	16,140	(+4,154)	
	事業費	8,271	10,898	(+2,627)	
	管理費等	3,715	5,242	(+1,527)	
	収支差	10,499	8,505	(▲ 1,994)	
	収支比率	187.59%	152.70%	(▲ 34.90%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	低年齢層(幼稚園・保育園)への営業活動				実施
②	小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	営業中止	営業中止	営業中止	実施
③	健康増進関連施設へのチラシ配布				実施しない
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	全プール利用者数(人)				68,900
②	4歳以上中学生以下のプール利用者数(人)	営業中止	営業中止	営業中止	26,700
③	利用者満足度調査(大いに満足、満足の比率)				100.0%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響によりR3年度は営業中止とした。R4年度について、コロナ収束の見通しが立たないなか、活動指標である営業活動などを実施したことは評価する。今後も施設の老朽化が進む中で適切な管理運営を続けていただくとともに、コロナ禍における感染対策を踏まえたイベント計画等について積極的に取り組んでいただきたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	営業中止に伴い利用料金収入及び自主事業収入が0円となるなど厳しい状況であり、収支についてはプラス収支を維持しているものの、昨年度に比べ悪化している。事業を実施していないためやむを得ないものと判断するが、今後も可能な限り支出の節約など、収支の向上に努めていただきたい。

事業評価 (2) 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部 光・MICE推進課	担当： 星野	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業 収支 (単位 千円)	収入 (経常収益比)	717,136 (71.1 %)	739,310 (73.7 %)	(+22,174)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	700,911	708,764	(+7,853)	
	その他収入	16,225	30,546	(+14,321)	
	費用(支出)	814,672	748,531	(▲ 66,141)	
	事業費	764,113	658,327	(▲ 105,786)	
	管理費等	50,559	90,204	(+39,645)	
収支差	▲ 97,536	▲ 9,221	(+88,315)		
収支比率	88.03%	98.77%	(+10.74%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 会員組織(くるとクラブ)の組織強化(会員数)		15,098	15,500	15,848	16,200
② 集中レッスンの実施(参加者数)		2,055	3,100	2,934	3,650
③ シニアDAYの継続実施(参加者数)		8,112	8,200	7,710	8,200
④ 他スキー場との連携(シーズンネット利用者数)		483	500	380	500
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 来場者数(人)		198,171	206,511	206,626	216,440
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業 の実施 結果 の有 効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響により、道外からの修学旅行やインバウンド需要が激減するなど、R2年度には来場者数が大きく減少したものの、地元客の誘客に積極的に取り組み、来場者数がやや改善したことは評価できる。 今後は、定山溪地区とも一層連携し、札幌観光の早期回復に寄与できるよう、国内客を中心に誘客に取り組むとともに、アフターコロナにおけるインバウンド回復を見据えた魅力向上にも取り組むことを期待する。
(2)収 支 状 況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度以降は売上が大きく減少しているが、R3年度に収支差は大きく改善している。可能な限りの経費節減に努め、収支の悪化を最小限に留めていただきたい。

事業評価 (3) 豊平峡電気自動車・レストハウス事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部 光・MICE推進課	担当： 横田	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業として公園管理		市委託料(随意契約) 2,980 市委託料(一般競争入札) 7,588
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車・レストハウス事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		36,512 (3.6%)	33,401 (3.3%)	▲ 3,111
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	10,804	10,993	(+189)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	24,479	21,109	▲ 3,370	
	その他収入	1,229	1,299	(+70)	
	費用(支出)	41,122	40,864	▲ 258	
	事業費	31,188	29,326	▲ 1,862	
	管理費等	9,934	11,538	(+1,604)	
	収支差	▲ 4,610	▲ 7,463	▲ 2,853	
	収支比率	88.79%	81.74%	▲ 7.05%	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	ディケアサービス施設の来場促進	実施済	実施	実施済	実施
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施	実施済	実施
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施	実施済	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	47,959	52,190	41,995	43,600
②	インバウンド誘致(インバウンド来場者数)	0	0	0	0
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響により、道外・海外からの団体客が激減するなど、来場者数は大きく減少したものの、地元利用の促進など、来場者の確保に取り組んだことは評価できる。今後は、アフターコロナを見据え、定山溪温泉や近郊の観光施設等との連携を継続し、定山溪地区全体の観光振興の役割を継続して担っていくことを期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が大きく減少した結果、収支状況が悪化しており、R4年度もR3年度と同等の来場者見込みとなっていることから、可能な限りの経費節減に努め、収支の悪化を最小限に留めていただきたい。

事業評価 (4) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 油井	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	○～R2年3月 藤野野外スポーツ交流施設（※）のリフト及び圧雪車の運行、保守管理 ○R2年4月～ 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営 （※）一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団と株式会社リゾート開発公社のコンソーシアム「Fu'sコンソーシアム札幌」として、藤野野外スポーツ交流施設の指定管理業務を受託。令和2年4月からは単独で指定管理者となった。		市指定管理費(公募) 18,127
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		232,500 (19.3 %)	225,484 (18.5 %)	▲ 7,016
事業 収支 (単位 千円)	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	119,272	119,510	(+238)	
	市施設利用料金収入	69,941	67,997	(▲ 1,944)	
	自主事業収入(補助金除く)	40,579	33,906	(▲ 6,673)	
	その他収入	2,708	4,071	(+1,363)	
	費用(支出)	219,969	233,931	(+13,962)	
	事業費	186,346	195,179	(+8,833)	
	管理費等	33,623	38,752	(+5,129)	
	収支差	12,531	▲ 8,447	(▲ 20,978)	
収支比率	105.70%	96.39%	(▲ 9.31%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	営業日数	251	274	175	274
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	リフト輸送人員数	759,384	621,000	744,301	774,100
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和3年度(2021/2022シーズン)については、新型コロナウイルス感染症の影響や、積雪に恵まれず、12月24日に冬期営業を一部開始したが、全面滑走可能となったのは、1月中旬であったため、営業日数及びリフト輸送人員数は昨年度を下回る結果となった。 今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者増加に繋がるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用料金収入及び自主事業収入等の減少により事業収支は赤字となった。今後も利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上及び新たな顧客の開拓等により、安定した施設の管理運営に取り組んでいきたい。

貸借対照表

令和4年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	724,216,263	流動負債	206,580,965
現金及び預金	675,071,349	1年以内返済予定の	
売掛金	6,323,491	長期借入金	78,600,000
商品	226,870	未払金	30,894,900
貯蔵品	1,143,044	未払法人税等	7,658,800
前払費用	15,457,089	未払事業所得税	8,098,800
立替金	77,597	未払消費税等	38,886,600
未収入金	25,572,234	未払費用	1,069,895
未収還付法人税等	147,661	預り金	19,567,425
仮払金	196,928	前受収益	5,200,295
		賞与引当金	8,415,600
		ポイント引当金	8,188,650
固定資産	1,635,440,127	固定負債	507,392,460
有形固定資産	(1,590,629,976)	長期借入金	367,700,000
建物	772,317,407	退職給付引当金	85,692,460
構築物	224,691,675	資産除去債務	54,000,000
機械装置	411,460,524		
車輜運搬具	56,474,851		
工具・器具・備品	24,580,471		
土地	101,105,048		
無形固定資産	(16,764,441)		
電話加入権	1,412,402		
グレンデ整備費	5,029,200		
ソフトウェア	10,322,839		
投資その他の資産	(28,045,710)		
投資有価証券	21,000,000		
出資金	20,000		
差入保証金	6,493,131		
役員退職積立金	63,600		
その他投資	468,979		
		負債合計	713,973,425
		(純資産の部)	
		株主資本	1,645,682,965
		資本金	1,020,000,000
		利益剰余金	625,682,965
		利益準備金	45,078,000
		その他利益剰余金	580,604,965
		別途積立金	218,000,000
		配当平均積立金	60,000,000
		繰越利益剰余金	302,604,965
		純資産合計	1,645,682,965
資産合計	2,359,656,390	負債及び純資産合計	2,359,656,390

損 益 計 算 書

自 令和3年6月 1日

至 令和4年5月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		973,951,208
ス キ ー 場 事 業 売 上	708,764,403	
豊 平 峡 事 業 売 上	33,365,239	
て い ね プ ー ル 事 業 売 上	10,408,182	
藤 野 事 業 売 上	221,413,384	
売上原価		2,625,360
売 上 原 価	2,625,360	
売 上 総 利 益		971,325,848
販売費及び一般管理費		996,813,290
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	996,813,290	
営 業 損 失		25,487,442
営業外収益		28,885,125
受 取 利 息	8,014	
受 取 配 当 金	720,600	
雑 収 入	28,156,511	
営業外費用		6,031,149
支 払 利 息	6,005,395	
雑 損 失	25,754	
経 常 損 失		2,633,466
特別利益		20,910,875
補 助 金	20,910,875	
特別損失		34,000,000
解 体 撤 去 費 用	34,000,000	
税 引 前 当 期 純 損 失		15,722,591
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		3,110,000
当 期 純 損 失		18,832,591